

令和3年度上半期の業務状況

1 事業の概況

上半期における業務量は、次のとおりである。

(1) 用水供給の状況

区分	業務予定量	上期業務量	上期業務量／予定量
年間供給水量	9,016,000m ³	4,050,095m ³	44.9%
一日平均供給水量	24,701m ³	22,132m ³	89.6%

(2) 建設事業の状況

令和3年度は上半期において、令和2年度に引き続き、当別浄水場の浄水池新設工事、機械設備工事及び電気設備工事を行っており、8月からは浄水処理棟の新設工事に着手している。札幌市内においても送水管の新設工事を行っている。

2 経理の状況

上半期における経理の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

区分	予算額	上期執行額	割合
用水供給事業収益	2,107,454千円	481,856千円	22.9%
用水供給事業費用	1,934,227千円	285,330千円	14.8%

(2) 資本的収入及び支出

区分	予算額	上期執行額	割合
資本的収入	4,177,014千円	700,077千円	16.8%
資本的支出	5,019,346千円	449,470千円	9.0%

[備考]

一時借入金残高 0円 (令和3年9月30日現在)

企業債未償還残高 13,573,963,666円 (令和3年9月30日現在)

I 令和2年度石狩西部広域水道企業団水道用水供給事業決算の概要

本年度の水道用水供給事業は、用水供給開始8年次目として、安全で安心な水を安定的に供給するため、現有施設の適切な維持管理等を実施するとともに、第2期創設事業の4年次目として、浄水場及び送水管の実施設計や土質調査等の委託、浄水池や送水管の新設工事、札幌ポンプ場・分水施設の用地取得を行った。

なお、令和2年度決算の概要は、以下のとおりである。

1 予算の執行

(1) 収益的収入及び支出

収入では、

予 算 額 円	決 算 額 円	予算額に対する増減△ 円	収 入 率 %
1,942,538,000	1,922,146,290	△ 20,391,710	99.0

支出では、

予 算 額 円	決 算 額 円	不 用 額 円	執 行 率 %
1,946,484,000	1,854,294,727	92,189,273	95.3

となり、収益的収入支出差引において、予定不足額3,946,000円に対し、決算では67,851,563円の残額で、差引71,797,563円の好転となった。

(2) 資本的収入及び支出

収入では、

予 算 額 円	決 算 額 円	予算額に対する増減△ 円	収 入 率 %
1,752,787,000	1,373,193,000	△ 379,594,000	78.3

支出では、

予 算 額 円	決 算 額 円	不 用 額 円	執 行 率 %
2,580,130,000	2,176,567,717	403,562,283	84.4

となった。

2 建設改良事業の概況

建設改良費の総額は、1,351,105,669円で、この内容は、

創設事業費 1,349,966,168円

固定資産取得費 1,139,501円

となった。

3 業務の概況

供給水量等については、

区 分	業 務 量
年 間 基 本 (有 収) 水 量	9,022,435 m ³
年 間 供 給 水 量	7,946,147
1 日 最 大 供 給 水 量	25,008
1 日 平 均 供 給 水 量	21,770

となった。